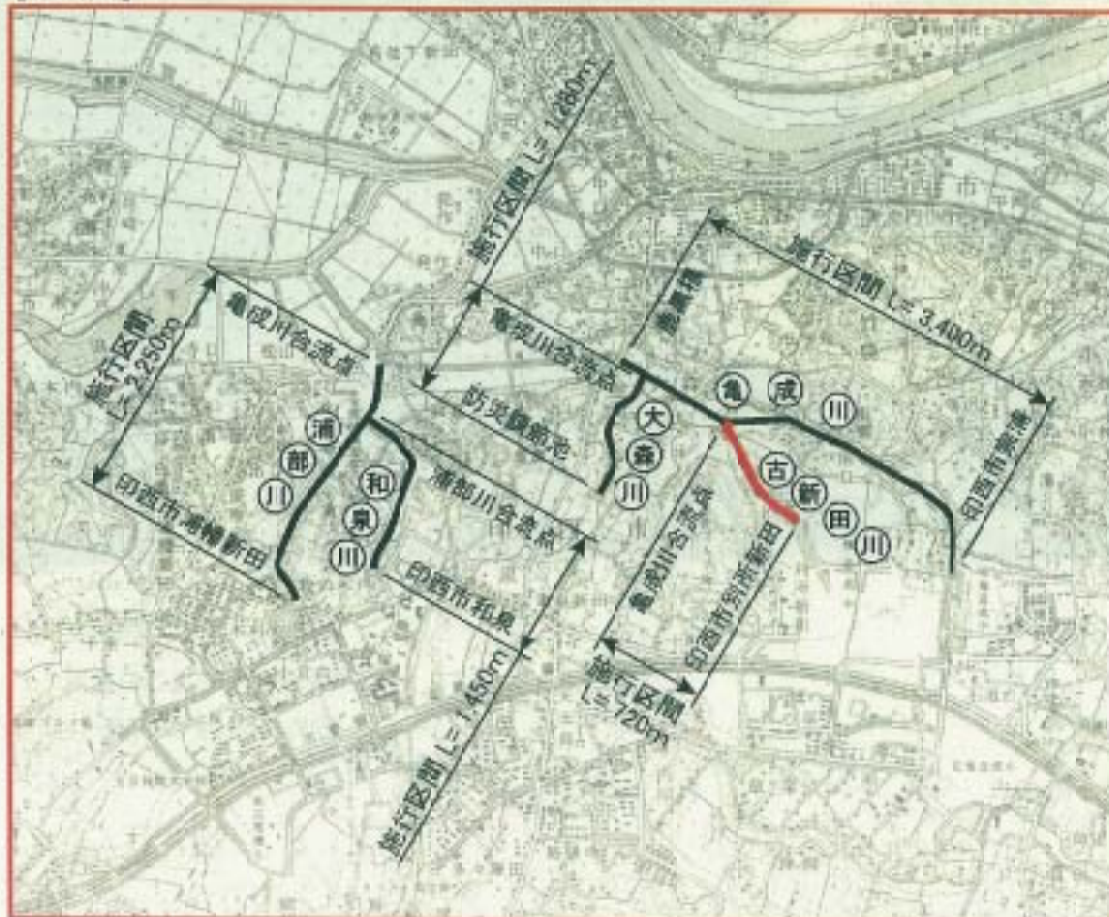


# 一級河川古新田川の改修計画

## 1. 位置



【拡大図】





2. 古新田川の周辺の状況（上空から見た古新田川と周辺の土地利用の状況）



### 3. 現在の古新田川の状況

現在の古新田川は、土地改良による直線的な水路である。



基本的には土羽河岸  
横断的な連続性は良好

現在の古新田川は  
土地改良による  
直線的な水路

平常時でも  
比較的水量は豊富

#### 現況河川の特徴

- ・ 土地改良で整備された農業用排水路であり、直線的な河道法線
- ・ 川幅は2～4 m程度、深さは50～60 cm程度
- ・ 一部護岸はあるものの基本的には土羽河岸
- ・ 河道内にはミズソバ、イ、タウコギ等の水生植物を確認  
(平成8年9月「千葉北部地区亀成他生態系調査」より)

## 4. 古新田川改修の計画

### 4-1 改修の必要性

千葉ニュータウン開発に伴う降雨時の流出増による洪水被害軽減のための河川改修

- ・ 古新田川の流域面積 2.3km<sup>2</sup>
- ・ 上流に設置されている調節池容量 143,000m<sup>3</sup>
- ・ 現況の流下能力 最大 2m<sup>3</sup>/s 程度
- ・ 計画流量 5~11m<sup>3</sup>/s (調節池無しの場合、52~57m<sup>3</sup>/s)
- ・ 計画延長 720m

### 4-2 第5回手賀沼流域懇談会意見と改修のポイント

#### 【主な意見】

- ① 農地の保全に努めた改修計画
- ② 水生動物の復元
- ③ 河床の凹凸をつける等生物に対する環境に配慮
- ④ 別所川流域の絶滅危機種の保護
- ⑤ 護岸形状の変更に伴う生物への影響に配慮

#### 【懇談会意見を踏まえた改修計画のポイント】

- ① 農地保全を踏まえた河川幅の見直し (法勾配、管理通路幅)
  - ・ 亀成川合流部W=14.4m→10.4m
  - ・ 別所川合流部W=12.7m→9.3m
- ② 護岸を現地発生土及び植生シートにより被覆  
→在来植物の種子の活着により植生が復元
- ③ 河床部は在来土のまま  
→自然な滞筋が形成、水生植物の復元
- ④ 支川別所川は、合流部のみの整備にとどめる  
→周辺への影響を極力抑え、絶滅危惧種への影響を回避
- ⑤ 護岸は高さ 50m 毎に幅 10 cm のステップ及び護岸部は在来植生の復元  
→小動物の移動が可能  
→人の昇降が可能



#### 4-3 地元説明会の実施状況

##### 【第1回】

日 時：平成18年6月13日

場 所：別所根郷会館

参加人員：町会長、手賀沼改良区委員、地元代表5名

意見要旨：改修に伴う実施設計にあたり地元要望聴取  
現在の里山を残した整備を要望

##### 【第2回】

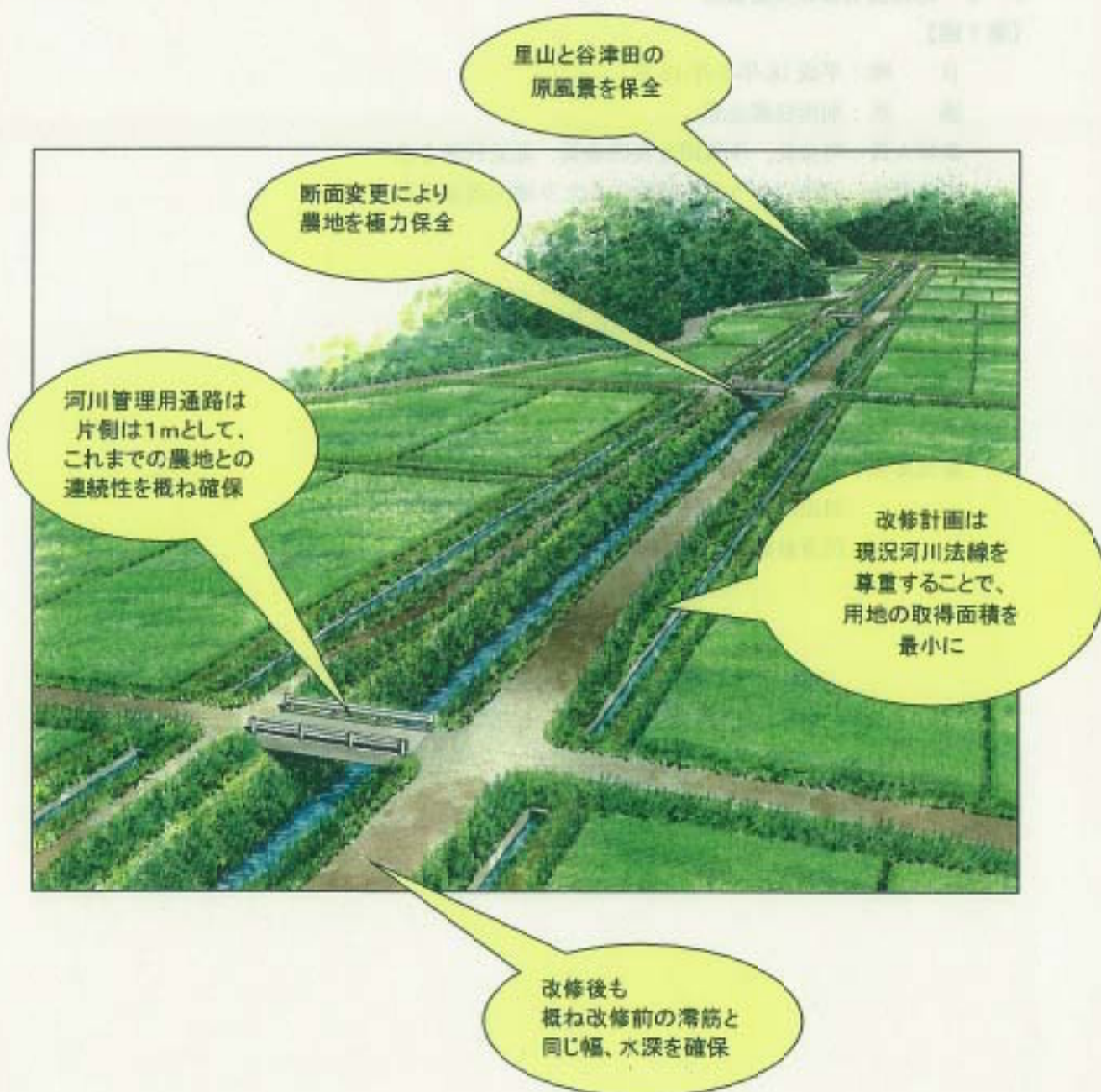
日 時：平成18年12月20日

場 所：別所根郷会館

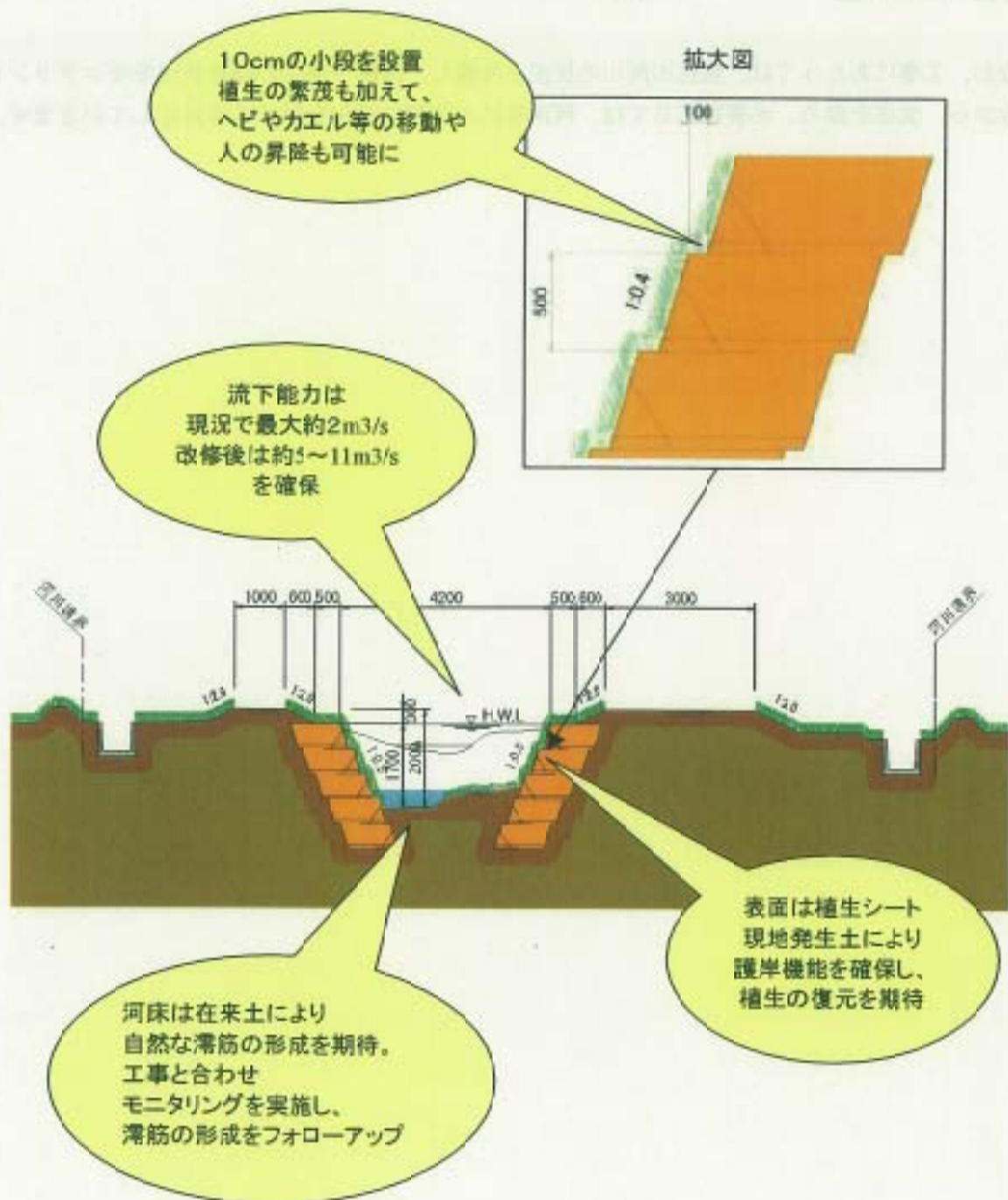
参加人員：町会長、地元住民10名

意見要旨：実施設計の内容、施工方法について説明  
田面暗渠管接続方法、用地取得時期等質問  
河道計画については了解

## 5. 古新田川改修後のポイント



イメージ図（断面図）



## 6. 今後の予定

平成 19 年度	用地買収及び環境調査
平成 20～22 年度	工事

なお、工事にあたっては、現在の河川の状況を考慮し、滞筋や植生の回復状況をモニタリングしながら、改修を進め、必要に応じては、河床等に人為的に変化を付ける等対応していきます。